北海道大英語を受講する皆さんへ

大学別の対策集の冒頭に，こういう宣言をするのは，どうかなとも思いますが，あくまで傾向や対策は，傾向と対策にすぎません。すなわち，傾向と対策を知れば受かるのではなく，最短の道がわかる，少しでも点数を高く取るためのものです。

やはり，北大の合格に必要なのは，解き方や読み方といった小手先のテクニックではなく，しっかりした英語力，どんな問題にもぶれない英語力なんです。そこはどうしても，誤魔化したくなかったので，授業では，徹底してそこを追求させてもらいます。合格するのに必要なのは，必殺ルールのような小見出しではなくて，**徹底した語彙力**と**音読により培った英文処理のスピード**と**確かな文法力に基づいた構文把握力**に**文と文のつながりを理解する論理力**です。

また，従来の対策集では，体系化されていない大問１問載せているだけでしたが，あえて**捨て問は外して**，正解しなければいけない問題・正解すべき問題に厳選して，**体系化して効率性を重視**しました。北大の入試問題は，満点を取る必要はありません。７割取れば受かるのであって，合格するには，それを全科目満たせばよいのです。

授業を受動的に聞くだけでは，自分で問題を解ける力はつきません。必ず予習して，授業を受け終わったあとの復習を何より重視してください。新出の単語・文法事項を覚える・文章を 10 回音読するといった地道な作業を 10 回続けてみてください。**復習テストをすべて突破して**，10 講分やり終えたあとには，必ずや北大の合格に近づいている自分が実感できるはずです。

肘井　学

テキストの特徴

授業を聞くだけでは，自分で実際の問題を解ける本物の力はつかないので，皆さんの復習を前提とした構成となっています。

それを手助けするために，読解の解答のあとに**重要語彙リスト**をつけてます。ここから**直接復習テストに出ます**ので，すべて必ず覚えてください。**単語力はすべての英語力の源**です。

さらに，授業後の復習に音読するための白文を読解の解答の最後につけていますので，必ず授業後に，①全文構文把握⇒②単語暗記⇒③本文 10 回音読の復習を欠かさずやってください。

次に，英作文の分野はただ板書しただけだと，何を覚えてよいかわからないので，**Input Sheet を解答の各講の最後に掲載**して，**何をどのように覚えたらよいかを明らか**にしました。右を隠して，答えを出せるように何度も繰り返してください。

目次

第 0 講	予習復習方法	p.3 ～ p.9
第 1 講	下線部和訳演習①	p.10 ～ p.17
第 2 講	下線部和訳演習②	p.18 ～ p.25
第 3 講	長文総合問題①	p.26 ～ p.33
第 4 講	長文総合問題②	p.34 ～ p.43
第 5 講	長文総合問題③	p.44 ～ p.51
第 6 講	長文総合問題④	p.52 ～ p.63
第 7 講	会話問題演習	p.64 ～ p.73
第 8 講	和文英訳演習	p.74 ～ p.79
第 9 講	自由英作文演習①	p.80 ～ p.89
第 10 講	自由英作文演習②	p.90 ～ p.93

第0講　　予習復習方法

一　予習について

＊授業で扱う文は，解法や読み方を学ぶためだけのものではなくて，そこに出てきた単語・熟語・構文すべてを学び取るもの。その文章で出てきた単語・熟語・構文は，必ず次の文にも出てくるものです!!

① 問題を解く（**長文は1問30分**と時間を決めて解く）
② 全文構文を把握しながら，意味を取っていく
③ わからない単語の意味を辞書で調べて，テキストに書き込む。授業は単語の意味合わせではないので，このことだけはしっかり予習段階でやってくるようにお願いします。
④ 前置詞の作るかたまりを特定する
⑤ 接続詞のつないでいるものを特定する（and, but, or）
⑥ 代名詞・指示語が何を指すか特定する（it, they, them, this）
⑦ 関係詞節の範囲を特定する
⑧ 不定詞の三用法を特定する
⑨ 分詞の名詞修飾を特定する

④〜⑨は，授業内で毎回指摘するので，予習時にやっておいて，授業では自分の精度の確認をしてください。

二　講義について

①板書を急いで取ること。ぼくが黒板に書き始めた途端に，急いでノートを取ってください。役に立たない内容は，板書しないので，これ見てるだけでいいよといった板書以外は，しっかりノートに取ってください。書いて覚えるというメリットもあります。全訳はしないこと，解答にすべてあります。わからない部分だけの書き込みにすること。**板書の書き出しに，ぼくと板書が重なって見えない時は，書き終えたら必ず見えるアングルに移動しますので，あわてずに，見えるようになってから板書をスタートしてください**。板書が書ききれない場合は，動画を一度止める・巻き戻すなどして，書き取ってください。これも映像授業のメリットです。

②授業中眠くなる時があるのは，ぼくもいたいほどわかります。ただし，こらえること。講義動画は，30 分前後で一本にあえて区切ってあります。

三　復習について

＜文法編＞

授業では徹底して頭を使って，理解することに重点を置きました。復習では，**頭を使いながら，やはり繰り返すこと**が重要です。解答の最後の Input Sheet に何を覚えるかを明らかにしてありますので，板書とそちらを見ながら，何度も繰り返して，知識を定着させてください。

＜読解編＞

毎年毎年，奇跡的な合格をはたしている生徒たちに伝授している秘伝です。何千人も生徒を教えてきて，これ以上に，成績を上げる方法は，いまだ思いつきません。といっても，急に奇跡が起こるようなそんなおいしい話なんてなくて，ぼくが練りに練り上げたその方法は，毎日毎日，ひたすら地道な作業を繰り返していくだけです。**一つの文章に対する密度を上げる**，それが遠回りに見えて，最も合格に近い道であることは，今までのぼくの生徒たちが証明してくれています。

復習その１　本文全体の構文把握

授業中に入れたスラッシュや括弧を利用して，全訳と照らし合わせて，SV はどれか，どこからどこまで一つの意味のかたまりで，どこがどこに修飾しているか確認して，意味を取っていく。

復習その２　知らない単語を，すべて覚える。

解答の各講の最後にある重要語彙リストを利用して，

① **日本語とセットで**，英語／日本語の順に，３回**書いて覚える**

② **日本語とセットで**，英語／日本語の順に，10 回**唱えて覚える**

⇒ ２, ３回繰り返しただけで覚えられない，暗記が苦手と嘆かないこと！　暗記に必要なのは，繰り返すこと，英語のできる子たちは，人より多く繰り返しているだけです !!

復習その３　文章を 10 回（長い文章は５回）音読する

音読の具体的な方法論と効果を説明します。

① 解答の各講の最後にある音読用英文で，１回読むごとに右上の数字に一つ斜線を入れていく。

② 次に，自分なりの発音でよいから，１文目を発声する（自習室では，自分だけに聞こえる程度の声で）。

（参考）He could not explain the reason for his instinctive avoidance of them.
（ヒークゥドノットイクスプレインザリーズン・フォーヒズインスティンクティヴアヴォイダンスオヴゼム）

③ 次に，構文を追いながら，意味を頭で考える。

（参考）彼は，彼が本能で彼らを避ける理由を説明できなかった。

④ この手順で，最後まで読む。数字の①に斜線を入れて，10 回繰り返す。

効果としては，まず**単語を生きた状態で学べる**。単語一つを覚えるのも重要ですが，それだけだと死んだ単語。文章中で出てきても，意味が思い出せない，何だか意味が取れないと思ったことありますよね。

次に，**正確な構文力がつく**。構文の処理を 10 回も繰り返せば嫌でも得意になります。

最後に，実はこの方法論こそが，皆さんが求める速読への最大の近道なんです!!
１回目に読んだ時の大変さ，遅さ，それは単語の記憶があいまいなせいで，構文を取るのが遅くて不正確なせいで，読むのが遅いんです!!

10 回目に読んだ時のスピードと比較してみてください。10 回目は，なんと早く読めることでしょうか。それは，単語の意味が正確に出てきて，構文をすばやく取れる，それが速読の真の正体なんです!!　英語を英語のまま理解できるという状態に達するのは，音読で徹底して繰り返した時に起きる現象なんです。

単語個の力と，文章の中で覚えた生きた単語力，その相乗効果こそが，最高に英語が得意になる秘訣なんです!!

あとは，これを一日一文，一週間で５文やってみてください。早い人で３カ月で見違えるような効果が生まれてきます。ぼくの英語の授業を完成させるかどうかは，皆さんの復習次第です。

四　復習テストについて

この授業の趣旨を理解していただいた皆さんは，いかに復習が大切で，復習こそが英語力を高める最大の近道だと気づいていただいたはずです。**授業を終えたあとこそ一番大事**，椅子に座って話を聞いて満足するだけじゃなく，そのあとに自ら能動的に動くこと＝復習することが一番大切なんです。ところが，人間一人ではなかなか，気持ちを維持することが難しいために，その復習をぼくたちが徹底してサポートして，二人三脚でこの最も大事な復習を続けていきます。

そのために，次の授業の前に，**前回のチェックテスト**を実施してください。文法編は，授業で扱った内容をほかの大学での入試問題で確認していきます。読解編は，長文内の構文がとりづらい英文の確認と，解答の最後にある重要語彙リストからの出題で，しっかり音読と語彙の定着がなされているかをチェックしていきます。いずれも，前回やった内容からの出題なので，満点で先に進んでください。英語力の分かれ目となるのは，実は未知の情報以上に，既知の情報を自分のものにできるかどうかなんです。

すべては，第一志望校に受かるため，英語力をつけるための最短の道と理解して，必死で臨んでください。

NOTE

NOTE

第１講　　下線部和訳演習①

今日のポイント

次の英文を読んで，それぞれの下線部を和訳しなさい。

１. With the slow creep of light pollution has come a far wider and more profound loss to the human spirit.

（　　　　　　　　　　　　　　　　）

２. Nor is Jun equally competent in the social and cultural aspects of both languages.

（　　　　　　　　　　　　　　　　）

３. Some people now considered the greatest geniuses in history would have been diagnosed as *autistic had they lived in the twenty-first century.

*autistic 自閉症

（　　　　　　　　　　　　　　　　）

4．<u>Deep below the ground in California are two huge but silent volcanoes. Scientists believe that, were they to explode, these supervolcanoes would set off terrible earthquakes and put the western United States under a thick blanket of ash</u>.

( )

NOTE

☆　倒置の基本

① 文型倒置　第Ⅰ文型⇒ MVS

第Ⅱ文型⇒ CVS

② 強制倒置 ＝ 否定の副詞（never, little, only ～）が文頭⇒後ろ疑問文の語順

③ 仮定法 if 節倒置

5.（この前にサルの頭を切り開いて，脳を取り除く実験の記述アリ）
Brain waves were produced as they would be from a living brain.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

6. In most animals, partial sensory deprivation can lead to illusions, and extreme deprivation to madness.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

7. The average item of local news attracts slightly fewer people than the average item of foreign or national news does.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

8. Describing someone as "fluent" in a second language generates even more problems than calling the person "bilingual" does.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

9. Variation in dialect, and especially in pronunciation, is a subject about which most people are quite willing to express an opinion when invited to, and many people are without being asked to.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

NOTE

☆　省略の基本

① 関係詞の省略

② 接続詞＋ S be

③ 既出表現の省略

④ 代不定詞＋代動詞

10. The belief that the universe is a machine and that it might contain other worlds like the earth threatened traditional assumptions about the uniqueness of man, leading to a denial of the doctrine that the universe had been created for the benefit of man.

( )

11. The death of plants beside the roads led environmentalists to investigate further and to discover just how widespread the problem caused by the use of salt to prevent ice on roads really is.

( )

12. Why is the Mona Lisa the best-known painting in the entire world? A simple glimpse at even some of her features — her silhouette, her eyes, perhaps just her hands — brings instant recognition even to those who have no taste or passion for painting.

( )

NOTE

☆　因果構文

① cause, lead to, bring about, result in, be responsible for

② come from, result from, arise from, be attributed to

③ 無生物主語＋五文型

大学別対策講座　北海道大英語　復習テスト　第一回

＊下線部を日本語に訳しなさい。

１.Some people now considered the greatest geniuses in history would have been diagnosed as autistic had they lived in the 21st century.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

２. Partial sensory deprivation can lead to illusions, and extreme deprivation to madness.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

３.A simple glimpse at some of her features brings instant recognition to those who have no taste.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

＊次の単語の意味を書きなさい。

4	creep	
5	profound	
6	competent	
7	aspect	
8	volcano	
9	explode	
10	attract	
11	fluent	
12	generate	
13	variation	
14	subject	
15	threaten	
16	assumption	
17	doctrine	
18	widespread	

NOTE

大学別対策講座　北海道大英語　解答編

本講座では，解答編もただ答えを載せるものではなく，徹底して受講生の復習を意識した構成にしました。

読解編では，各講の最後に，重要語彙リスト，音読用の白文を掲載しました。必ず授業後に，①全文構文把握　⇒　②単語・熟語の暗記　⇒　③本文音読 10 回を繰り返してください。音読用白文の表題の所に，①～⑩までの数字を明記してますので，１回音読するごとに，番号を消して，必ず一つの文を十回音読してください。音読こそが，速読，語彙の定着等，全ての道を切り開いてくれます。

会話・作文編では，何を覚えるかを明らかにした Input Sheet を８～10 講の終わりに掲載しました。何度も繰り返して，自分で知識を使える状態に仕上げてください。

復習こそが，英語学習で最も重要なポイントです。授業を聞いて分かったという状態から，自分で出来るという状態こそゴール地点だと改めて，確認してください。10 構分終えたあとの充実感，英語の力の圧倒的向上を楽しみに，頑張って下さい。

肘井　学

※掲載内容について

本書に収録された解答・解説はスタディサプリが独自に作成したものです。

北海道大英語　第１講　解答

＜解答・全訳＞

１．光害がゆっくりと進行するにつれて，人間の精神にとってはるかに広く深刻な損失が生じた。

２．ジュンは，両方の言語の社会的，文化的観点でも同等に有能なわけではない。

３．歴史上最も偉大な天才と現在見なされている人の中にも，21 世紀に生きていたならば，自閉症と診断されていただろう人もいる。

４．カリフォルニアの地下深くに，二つの巨大だが活動していない火山がある。科学者たちは，それらが爆発したら，これらの巨大火山はすごい地震を引き起こし，合衆国西部を分厚い灰に覆われた状態にしてしまうだろうと信じている。

５．脳波が，生きた脳から生じるのと同じように生じた。

６．ほとんどの動物で，部分的に感覚が奪われると幻覚が生じる可能性があり，極端に感覚が奪われると狂気に陥る可能性もある。

７．海外や全国ニュースの平均的な記事に比べて，地元ニュースの平均的な記事がひきつける人の数は，ちょっと少ない。

８．誰かを第二言語が「流暢だ」と言うことで，その人を「バイリンガル」と呼ぶことよりもさらに多くの問題が生じる。

９．方言，特に発音の多様性は，ほとんどの人が頼まれると，すすんで意見を表明する話題であり，多くの人が頼まれなくても，すすんで意見を言う話題である。

10．宇宙が一つの機関で，そこに地球のようなほかの世界があると信じることで，人間が唯一無二のものだという昔からの思い込みが脅かされ，そのせいで宇宙が人間の利益のために創られたという教義を否定してしまった。

11. 道路わきの植物が枯れたせいで，環境学者たちはさらに調査をして，道路の凍結を防ぐのに塩を使ったことで起きた問題が実際にはどれほど広範囲なのか突き止めた。

12. なぜモナリザは，世界中でもっとも良く知られた絵画なのだろうか。彼女の特徴の一部，例えばシルエットや目，ひょっとすると手だけでもちょっと見れば絵画に興味や情熱を持たない人でさえすぐに彼女と認識できる。

第１講　重要語彙リスト

1	creep	這う
2	light pollution	光害
3	profound	深い
4	spirit	精神
5	equally	同等に
6	competent	有能な
7	aspect	観点
8	genius	天才
9	diagnose	診断する
10	below	～の下に
11	volcano	火山
12	explode	爆発する
13	set off	～を引き起こす
14	terrible	すごい
15	thick	厚い
16	blanket	毛布
17	ash	灰
18	partial	部分的な
19	sensory	感覚の
20	deprivation	剥奪
21	madness	狂気
22	item	記事
23	describe A as B	A を B と言う
24	fluent	流暢な

25	generate	産み出す
26	variation	多様性
27	pronunciation	発音
28	subject	話題
29	be willing to do	すすんで～する
30	threaten	脅かす
31	assumption	思い込み
32	uniqueness	独自性
33	lead to	引き起こす
34	denial	否定
35	doctrine	教義
36	investigate	調査する
37	widespread	広範囲の
38	glimpse	ちらりと見ること
39	feature	特徴
40	recognition	認識
41	passion	情熱

第１講　音読用白文　① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

１.With the slow creep of light pollution has come / a far wider and more profound loss to the human spirit.

２. Nor is Jun equally competent / in the social and cultural aspects of both languages.

３. Some people now considered the greatest geniuses in history / would have been diagnosed as autistic / had they lived in the twenty-first century.

４. Deep below the ground in California are two huge but silent volcanoes. Scientists believe that, were they to explode, / these supervolcanoes would set off terrible earthquakes / and put the western United States under a thick blanket of ash.

5. Brain waves were produced / as they would be from a living brain.

6. In most animals, partial sensory deprivation can lead to illusions, / and extreme deprivation to madness.

7. The average item of local news attracts slightly fewer people / than the average item of foreign or national news does.

8. Describing someone as “fluent” in a second language / generates even more problems than calling the person “bilingual” does.

9. Variation in dialect, and especially in pronunciation, is a subject / about which most people are quite willing to express an opinion when invited to, / and many people are without being asked to.

10. The belief that the universe is a machine and that it might contain other worlds like the earth / threatened traditional assumptions about the uniqueness of man, / leading to a denial of the doctrine / that the universe had been created for the benefit of man.

11. The death of plants beside the roads / led environmentalists to investigate further / and to discover just how widespread the problem caused by the use of salt / to prevent ice on roads really is.

12. Why is the Mona Lisa the best-known painting in the entire world? A simple glimpse at even some of her features / — her silhouette, her eyes, perhaps just her hands — / brings instant recognition even to those / who have no taste or passion for painting.